

令和4年度長期研修者研究発表会実施要項（オンライン開催）

- 1 趣 旨 長期研修者が1年間の研究成果を発表し、今後の研究・実践に資するとともに、本
 県教育の充実・発展に寄与する。
- 2 主 催 鹿児島県総合教育センター
- 3 期 日 令和5年2月16日(木)
 鹿児島市宮之浦町862番地 電話(教科教育研修課) 099-294-2313
- 4 日 程 9:20~9:45 受付(その後も随時受け付けます)
 9:45~10:00 開会行事, 日程説明等
 10:00~15:30 研究発表
 15:30~15:40 閉会行事
- 5 研究発表

順番	時間	学校名	氏名	教科等	研究主題
1	10:00	鹿児島市立 向陽小学校	西原 真琴	社 会	社会への関わり方を選択・判断する力の育成を図る社会 科授業の創造 -問題解決的な学習過程における論題の設定と思考の可 視化を通して-
2	10:25	鹿屋市立 串良小学校	川口 拓透	体 育	運動の楽しさや喜びを味わう体づくり運動の学習指導 -「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方に着目 して-
3	10:50	姶良市立 錦江小学校	脇村恵里子	特別支援 教育	「できる」、「できそうなことがある」自分に気付き、自ら 挑戦する児童の育成 -チェックリストを活用した自閉症・情緒障害特別支援 学級の自立活動の授業実践を通して-
	11:15	準 備			
4	11:25	県立 指宿養護学校	久保絵美子	各教科等 を合わせ た指導	知的障害のある生徒の学びを明確にする各教科等を合わ せた指導における単元及び授業デザイン -特別支援学校中学部の生活単元学習におけるチェッ クリストを活用した取組-
5	11:50	鹿児島市立 清水中学校	橋本 佳澄	生徒指導	「令和の日本型学校教育」の実現に向けた発達支持的生 徒指導の充実 -安全・安心な学校環境づくりのための教職員集団の同 僚性、心理的安全性に着目して-
	12:15	準 備 ・ 休 憩			
6	13:15	屋久島町立 宮浦小学校	稲留 愛	総合的な 学習の時間	自己の生き方を考える総合的な学習の時間の創造 -探究的な学習が連続発展するための教師の関わり-
7	13:40	日置市立 吹上中学校	梶田 朋子	国 語	自律した学習者を育む国語科学習指導の在り方 -「責任の移行モデル」を活用した説明的な文章の学習を 通して-
	14:05	準 備			
8	14:15	霧島市立 日当山小学校	南木 清美	外国語	生き生きと英語で伝え合う子供の育成 -「話すこと」における自己調整を促す指導の充実-
9	14:40	志布志市立 志布志中学校	奥 健太	外国語	「読むこと」におけるコミュニケーション能力の育成 -「思考ツール」と「SCIメソッド」を用いた手立てを 通して-
10	15:05	薩摩川内市立 川内北中学校	新原 拓也	外国語	事実や自分の考え、気持ちなどを表現する力を高める外 国語指導の在り方 -「書くこと」の「正確さ」と「適切さ」を踏まえた指 導の工夫を通して-
	15:30				

申込みから当日参加までの流れ

Web申込期間

1/16 (月) ~ 2/7 (火)

【申込み二次元コード】



【申込みURL】 <https://forms.gle/sePB9JNZkPDBsXqKA>



決定通知 (ID, パスコード等)

※ 回答されたメールアドレスに通知します。

2/8 (水) ~ 2/10 (金)



資料配布 (ダウンロード) 期間

2/13 (月) ~ 2/16 (木)

参加する際の留意点 (お願い)

【申込みに関する事】

- Web上での申込みのため、期限を過ぎてからの申込みはできませんので御了承ください。
- 体調不良等の理由で急遽参加できなくなった場合は、各所属の管理職を通じて電話で御連絡ください。
(教科教育研修課：099-294-2313)

【Web環境に関する事】

- 参加者一人につき、端末1台で御参加ください。
- 当日は、静かに集中できる環境を確保し、御参加ください。
- 当日は、接続に関する問合せについては対応いたしかねます。

【参加方法に関する事】

- 申し込まれた方には、後日詳細についてお知らせします。
- 決定通知 (ID及びパスワード等記載) は、申込みの際に記載されたメールアドレスに送付します。
教職員の方は、原則「県域教育用ドメイン」のメールアドレス (末尾がkago.ed.jpのもの) を御利用ください。
- Zoomを使用します。当日、参加の際は、「所属名」、「名前」を入力してください。
(例) 「〇〇立〇〇学校 □□□□」

【著作権・肖像権に関する事】

- 録画、録音、撮影等は、固く禁止します。
- 配布資料については、所属での研修目的以外での二次使用は認めておりません。

令和4年度鹿児島県総合教育センター長期研修者研究発表会

令和5年2月16日（木）に、令和4年度長期研修者研究発表会を開催します。多くの方々の参加をお待ちしております。



★ 小学校教諭（5人）

西原 真琴

鹿児島市立向陽小学校

社会への関わり方を選択・判断する力の育成を図る社会科授業の創造
—問題解決的な学習過程における論題の設定と思考の可視化を通して—

社会科の「選択・判断する力」とはどのような力であり、どのように育成すればよいのでしょうか。また、児童が自分の社会生活と社会科授業のつながりを意識するためには、どのような手立てを講じればよいのでしょうか。このような課題を解決するために研究してきました。研究実践の中で、児童が自分の考えの変容を捉え、社会生活へのつながりを意識し、社会に見られる課題を自分事として考えていく姿について発表します。

南木 清美

霧島市立日当山小学校

生き生きと英語で伝え合う子供の育成
—「話すこと」における自己調整を促す指導の充実—

生き生きと英語で伝え合う子供を育成するには、「自己調整」を促す視点からの指導が大切だと考え、研究してきました。自己調整を促すための指導計画の作成、目標達成への動機付けを高めたり、相手意識をもち試行錯誤し学びを深めたりできる手立て、振り返りから次の学びへとつなぐ手立てなどについて発表します。

脇村 恵里子

始良市立錦江小学校

「できる」、「できそうなことがある」自分に気付き、自ら挑戦する児童の育成
—チェックリストを活用した自閉症・情緒障害特別支援学級の自立活動の授業実践を通して—

「なぜ、場所が変わったり関わる人が変わったりするとうまく力が発揮できないのかな？」そんな思いから、「物的環境」や「人的環境」の視点を加えた実態把握のためのチェックリストを作成しました。チェックリストで把握した児童の実態を基に、物的環境や人的環境を整え、指導方法を工夫し、児童が自ら挑戦する姿を育成するための自立活動の実践について発表します。

川口 拓透

鹿屋市立串良小学校

運動の楽しさや喜びを味わう体づくり運動の学習指導
—「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方に着目して—

体育科の目標「心と体を一体として捉え」において、その指導の中核を担っている「体づくり運動」。運動に親しみながら、「する・みる・支える・知る」の多様な関わりをすることで、運動の楽しさや喜びを味わうことができるのではないかと考え、研究してきました。児童が夢中になって運動に取り組み、工夫することを楽しみ、自分にぴったりの運動を見付けるための手立てや学習過程について発表します。

稲留 愛

屋久島町立宮浦小学校

自己の生き方を考える総合的な学習の時間の創造
ー探究的な学習が連続発展するための教師の関わりー

皆さんは子供たちが自分の生き方に影響を与えるくらいの総合的な学習の時間を実現しているという実感はありますか。私は、子供一人一人が主体的に自己の生き方を考えられるような総合的な学習の時間の実現を目指して研究してきました。具体的には、子供たちの探究的な学習が連続発展するような教師の関わりについて発表します。

★ 中学校教諭(4人)

梶田 朋子

日置市立吹上中学校

自律した学習者を育む国語科学習指導の在り方
ー「責任の移行モデル」を活用した説明的な文章の学習を通してー

生徒が自分自身の学びを深め、学習に対してより自覚的になるためには、教科書教材を基に、学習材の幅を広げた授業構想を組み立てる必要があると考え、研究してきました。そこで、3段階の学習過程を踏まえた説明的な文章の読解を通して、他者と交流しながら生徒が自律的になっていく姿を発表します。

新原 拓也

薩摩川内市立川内北中学校

事実や自分の考え、気持ちなどを表現する力を高める外国語指導の在り方
ー「書くこと」の「正確さ」と「適切さ」を踏まえた指導の工夫を通してー

生徒が「書くこと」を通して自分の伝えたいことを表現するためには、コミュニケーションの場面における、「正確さ」と「適切さ」について「知識及び技能」と、「思考力、判断力、表現力等」の側面から手立てを工夫することが重要だと考え、研究してきました。「話すこと[やり取り]」と関連付けた書く活動、英文を書く前の情報整理、生徒同士・教師によるフィードバックの取組について実践したことを発表します。

奥 健太

志布志市立志布志中学校

「読むこと」におけるコミュニケーション能力の育成
ー「思考ツール」と「SCIメソッド」を用いた手立てを通してー

「読むこと」に関し、英文の必要な情報を読み取ったり、その概要や要点を捉えたりするための有効な指導について研究してきました。「思考ツール」、動機付け、ICTをキーワードにし、手立ての効果を検証しました。当日は、指導の実際と生徒の変容について主に発表します。

橋本 佳澄

鹿児島市立清水中学校

「令和の日本型学校教育」の実現に向けた発達支持的生徒指導の充実
－安全・安心な学校環境づくりのための教職員集団の同僚性、心理的安全性に着目して－

「令和の日本型学校教育」の実現に向け、子供たちに持続可能な社会の創り手となる資質・能力を育むことが求められています。改訂された生徒指導提要には、発達支持的生徒指導の重要性が示されました。発達支持的生徒指導の充実には、教職員集団の同僚性や心理的安全性が醸成された安全・安心な学校環境づくりが大切だと考え、研究してきました。教職員集団の同僚性や心理的安全性を醸成するための工夫について発表します。

★ 特別支援学校教諭(1人)

久保 絵美子

鹿児島県立指宿養護学校

知的障害のある生徒の学びを明確にする各教科等を合わせた指導における単元及び授業デザイン
－特別支援学校中学部の生活単元学習におけるチェックリストを活用した取組－

知的障害のある生徒の生活単元学習において、生徒が何を学ぶのか、各教科等の内容をどのように反映させればよいのかについて研究してきました。単元や授業をデザインする過程における生徒の学びを明確にするためのチェックリストの提案やその活用方法について発表します。